

オオタカ（タカ科） 全長オス50センチ、メス56センチ

晩秋に入ると、大浦沼に冬鳥のカモ類が数多く飛来してきます。

一番多いのがコガモで、次にオナガガモ、ヒドリガモと続き水面は一気に賑わいを見せてきました。丁度この時期を待っていたかのように、近くの高野台地を棲みかとするオオタカが現れました。大浦沼ほぼ中心部にある小さな林に身を潜め、獲物を狙っている。

俊敏な飛翔能力を持つオオタカであるが、狩りはいつも成功するとは限りません。そのため、林の中からじっくりと時間をかけ好機を伺います。鋭い眼光で、視線を左右に振りながら待つこと約20分。獲物を見つけたのか、ついに枝を蹴って飛び出していった。



見つめる先には何が・・・。

地上スレスレの高さで数百メートルも飛翔したであろうか、沼の中に飛び込むようにして見えなくなってしまった。

水上のカモたちに気付かれないよう、低い飛翔で近づいたのでしょう。なかなかの技巧派です。狩りは成功したのか失敗したのか、遠すぎてわかりません。



繁みの中に身をひそめる。



体は動かない様に見えても、視線は常に左右を凝視していた。

それから数日後。

空中を飛翔する数百羽のコガモの群れの背後から、オオタカが襲いかかった。コガモは上下左右に乱れ飛び、必死に逃げ惑います。何度も攻撃を繰り返され、ついに1羽が犠牲になってしまいました。

食うものと食われるもの、厳しい自然の摂理でしょうか。



獲物に狙いを定める隠れ場所。



颯爽と飛び出していった。